



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局  
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>  
Mail: [renkyoueditor@mail.goo.ne.jp](mailto:renkyoueditor@mail.goo.ne.jp)

第 376 号

(創刊 1988.12.14)

2021.01.10.

## 新年のご挨拶

連協の皆さま、新年明けましておめでとうございます。コロナ禍のなか昨年には法に基づく5年毎の事業評価が年初に行われました。

この評価とは国費を使う公共事業が国民のためになっているかどうかを第三者機関が判定し、その事業の継続可否を決定するためのものです。

今回、工事段階に入ったことから大幅に見直さざるを得ない状況に陥り供用を5年、工事費を4,300億円から500億円上乗せをしたのです。事業者はその言訳のために、行政に対して連絡調整会議なるものを直前に設置し事業継続の関門を乗り切ったのです。その会議の趣旨は「事業の問題点につき、情報の共有を図る」とのことでした。

公共事業とは住民の理解のもとに進められるべきものであり「情報の共有」には当然住民が含まれることは明らかです。しかし我々が行政に情報公開を求めたところ住民は直接含まれていないことを知り仰天しました。

皆さまにはすでに新聞やテレビ等でご承知のように、東京外環でシールドマシン掘削により大変な被害が生じています。住宅地前の生活道路が大きく陥没したのです。またその近辺の地下2か所に巨大な空洞も発見されました。工事の影響であることは明らかであり現在工事は中止しています。

私たちの地域でも今年度から同様の大型シールドマシンが住宅地のど真ん中を掘進します。何が起こるか分かりません。万が一、異常が起こっても直ちに事業者とそのような情報を共有すべきです。

**「住民の声を取り上げるシステムを構築することが、これからの連協の仕事」と受け止めます。**何か異常を感じたら声を上げ直接事業者に訴えましょう。一人では小さい声も所属する町会を通し大きな声としましょう。連協がサポートします。

この度の犬山地区での横環南上下線での緊急非常駐車帯設置の工事中止も住民が勝ち取ったものです。住宅地直下で拡幅する工事は上記の陥没事故のような危険が予測され、国交省とNEXCOに訴え続けてきた素晴らしい成果です。他地区でもこれに倣い環境問題等で立ち上がりましょう。

連協はその設立趣旨からこれらの運動をサポートするものであり、本来の目標であった事業停止に至りませんでした。私たちの生命、財産、環境を守る原点に立ち帰り闘い続けます。あくまでも地域の方々の運動が原点です。

現在は緊急事態宣言を發出してコロナ禍を遮断することが喫緊の課題です。それに伴い横環南の事業は即刻中止してその財源を休業補償等に振り向けることを切望します。

どうぞ皆さま本年もよろしくご支援の程お願い申し上げますとともに皆さまの一層のご健勝を祈念致します。(会長 比留間)

## 桂台トンネル掘削工事発進！

NEXCO 東日本から1月4日に西ヶ谷ハイツ自治会に、横浜環状南線桂台トンネル工事を1月6日(水)よりトンネル掘削に伴うシールドマシンの発進を行うとの連絡が文書であった。工事開始に伴い、引き続き安心・安全に進めていくとの内容であった。

いよいよ桂台トンネルの掘削がはじまる。西ヶ谷前の発進立坑から発進して桂台小学校先の回転立坑まで掘削し回転立坑で向きを変えて西ヶ谷前まで戻って来る工事である。マシンによる掘削は1日16から20メートル程度とされ、桂台の回転立坑到達予定は本年夏前半頃とされている。

シールドマシン掘削工事では、東京外環道路の調布周辺で大深度地下トンネル(深さ40m以上)を掘削している段階で住宅街に地盤沈下が複数起きたことは記憶に新しい。同地区ではこれまでも本工事に伴い近隣地域で振動・騒音・低周波音・健康被害・亀裂・タイル剥離等家屋損傷や地盤変異が起きていたという。

私たちもトンネル掘削工事が始まりこうした不安は日常のこととなることから、住民はしっかりチェックしていく必要があるだろう。工事に伴う変異等が生じた場合は、各自治会・町内会そして連協を通してNEXCOに問い合わせ等を行っていくこととしたい。(西ヶ谷ハイツ S.T)

## 上郷公田線説明会

12月14日（月）上郷地区センターに於いて、横浜市道路局建設課から上之・コートハウス・西ヶ谷ハイツの三自治会住民に対し上郷公田線の関連部分の道路構造についての説明が平面図・縦断図・横断図を用いて行われた。

建設課によると、高速南線の2025年（令和7年）度供用に合わせて、桂台のトンネル部分は2022年（令和4）度に工事着手するが、上郷地区は2024年度に着手し、2025年度を開通目標としている。西ヶ谷団地入口交差点からトンネル入口の犬山町までは一般街路としては最大の8%勾配の掘割構造となる。西ヶ谷ハイツ1・13号棟前から桂台南バス停へ行く既存道路の約5m下を上郷公田線が通る形だ。計画交通量は、6,200台。横浜市は、騒音は出るが、6,200台の交通量では、住民からの要望があるからと言って、防音壁などを付けますとは言えない、工夫はさせてもらうとの回答。

しかし、6,200台もの車両が新たに通るようになれば環境悪化は避けられません。道路開通後もここに住み続ける沿線住民としてできるだけ環境対策をするよう要望した。2016年の地元説明会で示された予測交通量9,900台が今回6,200台に3割近く減った要因について納得がゆく説明がなされなかったので、環状4号線の通行量とそこから上郷公田線へ進入する車両の割合、大型車混入率、昼夜間及び時間別交通量を最新のH27年度交通センサスの数字を用いて改めて説明するよう要望した。

今後、各自治会が抱えている問題を個別に話しあっていくこととした。

（西ヶ谷 高村 R）

## 桂台トンネル非常駐車帯設置取止め

上り線非常駐車帯を下り線と同じ送電線下に移動するようとの犬山町沿線住民要望について、事業者は現計画位置と住民要望位置の総合的比較検討を行ないその結果をシールドトンネルマシンの到達前に説明す

ることを約束していたが、国交省より急遽回答したいとの要請があり臨時の回答会議が12月23日に開かれた。

NEXCO横浜工事事務所より、「有識者意見、警察、社内関係者等との調整を行い施工の効率化、走行の安全性、維持管理、コスト等の総合的検討結果として桂台トンネルの非常駐車帯設置は取りやめる」との説明があった。

そもそも、トンネル内非常駐車帯は法的には1,500m長を限度として設置を定めており桂台トンネルは1,400mのため無くても支障のないはずだが、道路公団のアセス計画に入っておりNEXCOはそれを踏襲してきたものである。

非常駐車帯はトンネル中央部設置が安全性から望ましいと説明しつつも中央部の用地取得が難しいと安易に移動させ、下り線はそこも難しいとさらに中央からはるか遠くなる送電線下まで移動させる計画としたが、上り線は単に事業用地内であったことを理由に送電線下への移動を拒否してきた。

上下線での整合性もなく住民から見れば不要なものをやみくもに進めて来たものであるといえる。

なお、今回の取り止めに対し沿線住民からはNEXCO現地関係者の住民の意向を踏まえた対応に対し謝意の言葉も出ていた。

（事務局長 長谷川誠二）

## 対外活動報告

12/08 芦川東上郷連合町会長打合せ

（会長 芦川宅）

12/15 東京外環道青梅街道インター事業

認可取消訴訟 第25回口頭弁論

（東京地裁1名参加）

12/23 非常駐車帯他に関する事業者との

臨時質問・回答会議（西ヶ谷ハイツ：

参加者は連協・住民から14名、

長谷川市議会議員）

12/23 事業者に質問書の提出

